



左：えんぱく（市民交流センター）

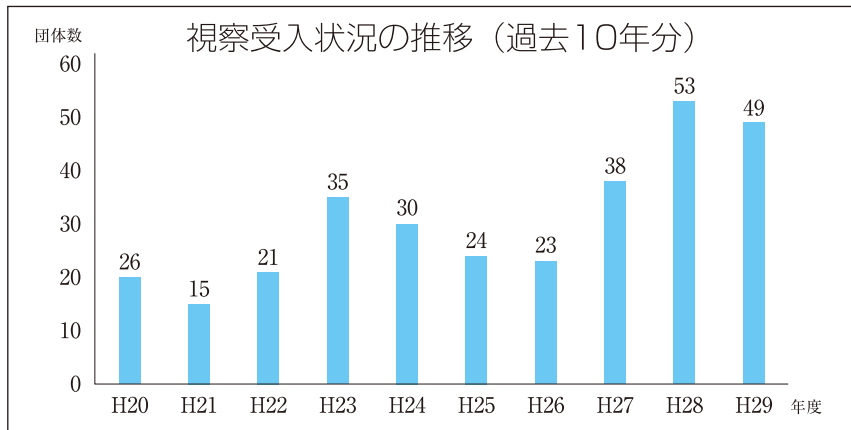


右上：ウッドパーク（信州Fパワープロジェクト）



右下：中継機（市内を網羅する情報ネットワーク）

全国の議会から注目される塩尻市



塩尻市議会では、全国各地の議会からの行政視察を受け入れています。平成29年度は、全国から49自治体の議会議員が塩尻市の先進的な取り組みについて視察されました。近年、視察の受入が増加傾向にあり、塩尻市が注目されていることがうかがえます。

○センサーネットワーク

塩尻市では、子どもや高齢者の見守り等の地域の安全安心に関わる情報を収集・配信可能とする独自の情報ネットワークシステムを構築しています。そのネットワークを活用し、田畑周辺に獣探知センサーや罾捕獲センサーを設置し、サイレン音やフラッシュ光での獣の追い払いや罾の検知情報がクラウドを介して地元農家や猟友会に地図付のメールとして配信される鳥獣被害対策システムを導入しています。これにより鳥獣被害の減少と農家や猟友会の負担軽減を実現しています。

サルやイノシシ等の農作物被害の効果的な対策の参考とするために視察する議会が多くありました。

○えんぱく

（市民交流・図書館）

「図書館」「子育て支援・青少年交流」「シニア活動支援」「ビジネス支援」「市民活動支援」の5つを重点分野とする複合施設です。建物は、三方ガラス張り、内部は壁柱（かべしら）と呼ばれる特徴的な板状の構造体で構成されています。同様な施設の建設のため、視察する議会が多くありました。